

分科会①-2 チームまとめ

- 1.コーディネーター：稲葉雅子
- 2.参加者数：11名（宮城2名、福島1名、山形8名）
- 3.テーマ：女性の起業と経営
- 4.ディスカッション内容

参加者11名のうち内訳は、「すでに起業済み」4名（うち1名は2代目継承）、「起業準備中」2名、「企業等に勤務中」32名、「学生」2名でした。

これから取組みたいと起業準備中の方は、マッサージやセラピーをやりたいという山形県の女性と翻訳やライターとして独立したいという山形県の女性。これに対し、すでに食品加工と農家民宿で起業している山形県の方から「商売はお金をまわさないといけない、想いだけではなかなか商いにならないですよ」と覚悟を促すようなお話しがありました。自動車整備の仕事をしている2代目経営者からも「経営を黒字化させることは、なかなか簡単にはできません。自分の子供が3代目となりますが、今後の世の中を考えると悩みます」というお話しもありました。

学生さんも3名いらしたので、すでに起業している4名の方に「なぜ起業に一步踏み出したのか、なにがあって踏み出すことができたのか」を伺いました。食品加工と農家民宿で起業している方は、「60歳のときに食品加工の仕事を始めました。なぜ起業したかという、60歳になる前に、自分が60歳になったらその後の人生をどうしていこうかと考え、自分自身で始めることを選択しました」と。福島県で起業支援をしている方は、「起業したらいいのではないのかと知人に勧められ、その頃企業に勤務するときに、40歳になったら起業します、と宣言しました。起業してすぐ震災もあり、やりたいことをきちんとまとめて起業することができなかったのが残念だったことです」とお話しがありました。

これらのお話を聞いて、起業準備中の方とおつとめ中の方には、「私はこんな一步を踏み出してみたい」というお話を聞きました。起業準備中の方からは、「この場に参加したことが自分にとっては大きな一步です」と嬉しそうでした。もう1名の起業準備中の方からは「結婚をしていますが、子供がいても、自立している女性でありたいです」とお話しがありました。

現在お勤め中の方からは、「すぐに起業はしないけれど、会社に勤務しながら会社のことを考えるという方法があるので、会社のこと、経営のことなど考え続けていきたいです」と、男女共同参画の仕事をしているお勤めの方からは、「いろいろな考え方や取組み方があることがわかり、よかったです」とお話しがありました。

学生さんからは、「地元のベンチャー企業に入社を希望しています。サラリーマンとして働いて、10年たったら起業できる人材となっていきたいです」という頼もしいお話しがありました。もう1名の海外からの留学生は、日本語がまだまだ話せませんでしたが、参加者の中で通訳・翻訳で起業をしたいという方が、学生さんに通訳をしてくださり、情報を共有することができました。

最後に、全員から「これからの新たな一步」についてお話しをいただき、皆さんとがんばっていきましょうと前向きな話題で締めくくることができました。

以上